

平成20年度 決算報告書

国立大学法人山形大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,052	13,136	1,083	(注1)
施設整備費補助金	1,581	1,692	110	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	69	464	395	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	65	65	-	
自己収入	15,913	16,950	1,036	
授業料、入学金及び検定料収入	5,398	5,234	△ 163	(注4)
附属病院収入	10,351	11,460	1,108	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	163	254	91	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,309	1,688	378	(注7)
引当金取崩	-	32	32	(注8)
長期借入金収入	1,557	1,512	△ 44	(注9)
貸付回収金	0	3	2	(注10)
承継剰余金	-	1	1	(注11)
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	475	381	△ 94	(注12)
計	33,026	35,928	2,902	
支出				
業務費	23,450	24,558	1,108	(注13)
教育研究経費	14,109	12,118	△ 1,990	
診療経費	9,341	12,439	3,098	
一般管理費	3,981	3,689	△ 291	(注14)
施設整備費	3,204	3,269	65	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	69	454	384	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,309	1,601	291	(注16)
貸付金	0	4	4	(注17)
長期借入金償還金	1,010	997	△ 13	(注18)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	33,026	34,575	1,549	
収入-支出	-	1,353	1,353	

※1)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

※2)「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前事業年度よりの繰越額からの使用額153百万円

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、平成19年度退職手当及び特別教育研究経費等に係る運営費交付金債務の繰越額により、予算額に比して決算額が1,083百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、計画の段階で予定していなかった平成20年度補正予算に係る施設整備費補助金の受入等があったため、予算額に比して決算額が110百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、計画の段階で予定していなかった補助金等の受入があったため、予算額に比して決算額が395百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、当初見込みに比して、平成20年度在籍者数の減、平成21年度志願者数及び平成21年度入学者数の減により、予算額に比して決算額が163百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、患者数の増、手術件数の増、診療単価の増等により予算額に比して決算額が1,108百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、資金運用による財務収入の増等により、予算額に比して決算額が91百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が378百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、有期雇用職員等の退職手当等の増により、予算額に比して決算額が32百万円多額となっています。
- (注9) 長期借入金収入については、基幹・環境整備において当初計画よりも契約金額が下回ったため、予算額に比して決算額が44百万円少額となっています。
- (注10) 貸付回収金については、本学独自の制度である学生支援基金回収金の増により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注11) 承継剰余金については、計画の段階で予定できなかった和解金の支払いがあったことにより、予算額に比して決算額が1百万円多額となっております。
- (注12) 目的積立金取崩については、当初計画の変更等があったため、予算額に比して決算額が94百万円少額となっています。
- (注13) 業務費については、病院収入の増加及び学内予算の変更等により、予算額に比して決算額が1,108百万円多額となっています。
- (注14) 一般管理費については、経費の節減及び学内予算の変更等により、予算額に比して決算額が291百万円少額となっています。
- (注15) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が384百万円多額となっています。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が291百万円多額となっています。
- (注17) 貸付金については、本学独自の制度である学生支援基金及び国際交流事業基金の貸付の増により、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注18) 長期借入金償還金については、平成19年度借入設備の利率が予定より低い利率で確定したことにより、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。